



北浦っ子

令和3年度学校だより9月号
9月9日発行
延岡市立北浦小学校 No9
文責：校長 甲 斐 憲 一

コロナに負けないぞ！2学期もがんばろう！

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。子供たちは、元気なあいさつをして、ニコニコ笑顔で登校してきました。登校中に夏休みはどこかに行ったかな？と聞きましたが、コロナの影響でなかなか外出ができなかったとか、阿蘇で泳いだとかの話をしてくれました。今年はワクチン接種が始まり、感染も拡大しなくなるかもと思っていましたが、感染者の多い都市部からの人の流入や新たな変異ウイルスも出現し、宮崎においても連日100名以上の感染者がでており、なかなか厳しい状況が続いています。

しかし、北浦小学校では感染防止の対策をしっかりと行いながら、コロナに負けずがんばっていきたいと思います。

始業式は、通常、体育館で行いますが、このような状況なので、校内放送で行いました。5年生の日高幸咲さんと3年生の高須佳乃さんが2学期の目標について作文を読んでもくれました。2人とも3つの目標を掲げ、2学期を頑張っていきたい気持ちが強く出ていて、全校児童にも目標をもって取り組むことの大切さがよく伝わったと思います。1年生もピンと背筋を伸ばして、しっかりと放送を聞いていました。とても立派でした。

また、コロナの影響でなかなか外遊びもできなかったせいか、子供たちは登校するとすぐに運動場に出てドッジボールを楽しんでいました。本当に北浦っ子のみんなは元気ですね。子供らしくてとても良いことだと思います。

2学期は運動会をはじめたくさんの行事があります。学校の目指す児童像「元気いっぱい！やる気いっぱい！思いやりいっぱい！」を頭に刻み、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。コロナに負けず頑張っていきましょう。



【姿勢良く話を聞く1年生】



【放送室で作文を読む幸咲さんと佳乃さん】



【朝の外遊び！みんな元気です！】

あいさつが良くなってきています！

2学期が始まり2週目となりました。毎朝、子供たちの様子を見ていますが、子供たちのあいさつがとてもよくなってきました。元気の良いあいさつ、そして、子供たちが先にあいさつする姿が多く見られ、心が和やかになります。

あいさつの大切さを少しずつ感じながら、地域の誰に対しても、一人の時にでも、立派なあいさつができることを最終目標として、これからも頑張ってもらいたいと思います。

ところで、メラビアンTMの法則はご存じでしょうか？人の第1印象はたった3秒で決まり、見た目でその人の印象が9割決まるというものです。つまり、あいさつ時の表情や姿勢がよく、元気で明るい声は、好印象を与えるということが言えます。将来社会に出たときに、あいさつがしっかりとできるとできないかでは大きな差が出てきます。小学生からしっかりと身につけていくことはとても大事なことだと思います。

ちなみにメラビアンTMの法則の逆で、悪い第一印象を改善するためには、300時間も【狭い道は一列に並んで登校しています】その相手と関わらないといけなそうです。つまり、なかなか改善することは難しいということですね。表情や身だしなみも気をつけなくちゃいけないですね。



【元気いっぱいのあいさつができています】



メヒカリがやってきた！

9月8日（水）の給食の献立にメヒカリの唐揚げが登場しました。そのタイミングでPTA会長の吉田さんが学校に取れたたのメヒカリを届けてくれました。

会長さんは、子供たちがなかなか取れたたのメヒカリを見たことがないので、実際に見て、さわってほしいということで、たくさんの新鮮なメヒカリを準備していただきました。子供たちは、目が大きい、青い、ぴかぴか光るとか、身が柔らかいとか、まだしっぽが動いてるとか、おじいちゃんがとってるよとか、いろいろな反応を見せてくれました。

実際に見たり触ったりする経験はとても大切なことです。このような機会をいただきありがとうございました。またこのような機会を通して地域の食材の良さを知り、地域の良さに気づき、地域を愛する心が育ってほしいと思います。



【メヒカリについての説明】

